

# 元祖 モリモリ書店

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校

読書だより

「Filliomote」, 7女の子の組  
9.2-ジヤンが、7も、  
感心い。

第23話 R02.06.30(火)  
「読まないといけない本  
なんてあるのでしょうか。」

★今回、紹介する本は、『バーナード嬢曰く。』第⑤巻 (著/施川ユウキ、出版/一迅社) です。

「本を読まずに読んだことにしたい」と望むぐうたら読書家の高校生「バーナード嬢」が主人公。

彼女とその仲間たちが図書室でほのぼのと過ごす日常を描いたマンガです (有名なんですかね?)。

その昔アニメになったみたいで、でも、店長は、この5巻しか読んでないので、作品自体の評価などはわかりませんが、とにかく、「本」「読書」がテーマとなっていて、本好きにはたまりません。

『カササギ殺人事件』『本好きの下克上』『ギネス世界記録』『三体』『ダレン・シャン』『透明人間』などの本が話題に出てきて、読みたくなること必至です。本のすばらしさとともに、仲間同士のすてきなつながりが味わえる1冊です。



明日になったら今の感奪力が失われるとしたら尚更今のうち言葉にしとくべきだろう。(p.38)

「読書あるある」もあつ、笑えます。本バツってたまにたがる!!



Book

やっぱり傑作だよ。少なくとも僕にとっては。(p.42)

バーナード嬢

人間は孤独の集まりなのよ

1巻から8巻まで読みました。

本がこいにかたてさんでてまふ。5巻は...